

普通救命・AED 講習会内容

令和5年10月27日（金）午後1:30～4:30

八尾市文化会館（プリズムホール）4F 研修室

委員出席者：川崎、黒田、小森、瀬戸、山本、若松、前田

事務局：畠山、眞鍋、前畑

1. 開会

2. 講義 八尾市消防署

訓練担当 孝村氏・奥田氏

➤ DVD鑑賞（応急手当講習テキスト参照）

§1 応急手当の基礎知識

I. 応急手当と救命処置

II. 救命の連鎖と住民の役割

III. 突然の心停止を防ぐために

§2 救命処置

I. 救命処置の流れ（心肺蘇生とAEDの使用）

II. 救命処置の手順

§3 その他の応急手当（ファーストエイド）

I. 傷病者の管理法

II. 止血法（直接圧迫止血法）

参考→ショック状態への対応

§4 その他

I. 119番通報と救急車の呼び方

➤ 八尾市消防署の孝村様より

救急指令が毎年増えて、31分に1回の割合で出動しています。

（八尾市は2台/時間出ていることになります）

救急要請があつて救急車は、8分で到着しています。

全国的には到着時間は9分です。

呼吸をしていない患者さんは、10秒あまりで意識がなくなり、そのままの状態ですら3～4分、何もしなかつたら脳の回復が困難となります。

そこで、そばに居合わせた人が心肺蘇生しAEDを使えば蘇生率が上がります。8割以上とされています。



➤ 救命処置の実技

- ・ 2 班に分かれて実技を行う

胸骨圧迫と人工呼吸（格好だけ）の訓練

胸骨圧迫 30 回と
人工呼吸 2 回の組合せ

※ ポイント

- ・ 両肘をまっすぐに伸ばし、真上から垂直に傷病者の胸が約 5 cm（単三電池の長さと同様）沈むまでしっかり圧迫する
- ・ 心肺蘇生を行っている間は、胸骨圧迫をできるだけ中断せずに、絶え間なく続けることが大切

➤ まとめ

4 年ぶりの講習会開催となり、シルバーでやり始めて 13 回目である。

救命活動をおこなうためには、救命処置に必要な知識や技術を繰り返し学びしっかり身に付けて置くことが大切である。

